

Azure AIで始めるナレッジシェア 非IT企業のDX改革ファーストアプローチ

日本マイクロソフト株式会社
Azure ビジネス本部
AI/Machine Learning プロダクトマーケティングマネージャー
小田健太郎

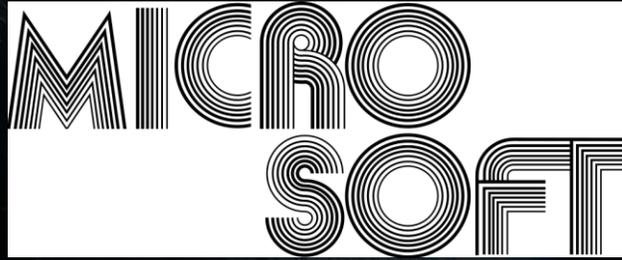


Our mission

Empower every person and
every organization on the
planet to achieve more

地球上のすべての個人とすべての組織が
より多くのことを達成できるようにする

Our mission

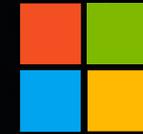


(1975年)

すべてのデスクと家庭に
コンピュータを

創業時

現在



Microsoft

(2014年)

地球上のすべての個人とすべての組織が
より多くのことを達成できるようにする

Microsoft Cloud

どのプロバイダーよりも信頼されるキャパシティ

60+ データセンターリージョン

100+ コンプライアンス認証

35 カ国のデータ所在地

24兆+ 一日のセキュリティシグナル





Microsoft Cloud
for Financial Services



Microsoft Cloud
for Healthcare



Microsoft Cloud
for Manufacturing



Microsoft Cloud
for Nonprofit



Microsoft Cloud
for Retail



Microsoft Cloud for Sustainability



Microsoft Cloud



モダンワーク



ビジネス
アプリケーション



インフラストラクチャ



デジタル &
アップイノベーション



データ & AI



セキュリティ

最も信頼され包括的なクラウド



Artificial intelligence (AI)

[ar . ti . fi . cial . in . tell . i . gence]

AI 導入の主な障壁

43% AI に対する明確な戦略の欠如

42% AI 活用のための適切なスキル セットを持つ人材の欠如

30% 機能的なサイロによるエンドツーエンドの AI ソリューションの制約



AI導入やイノベーションの障壁は大きく分けるとこの5つに分類



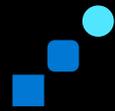
政治

デジタル化が進んだ組織の**83%**は、イノベーションの取り組みを進めるために横連携が可能なチーム組成を行っています *1



マインド セット

リスクとイノベーションは両立します。**グロース・マインドセット**を持たない企業は、これを支える文化を構築することに大きな課題があります *3



スキル

スキルギャップは特に大きな問題で、調査対象となったCEOの**55%**が「効果的な革新ができない」という懸念を第一に挙げています *4



予算

IT部門がDXや新規ビジネス推進に取り組む際にコストをかける費用は全体の**約20%未満**です *2

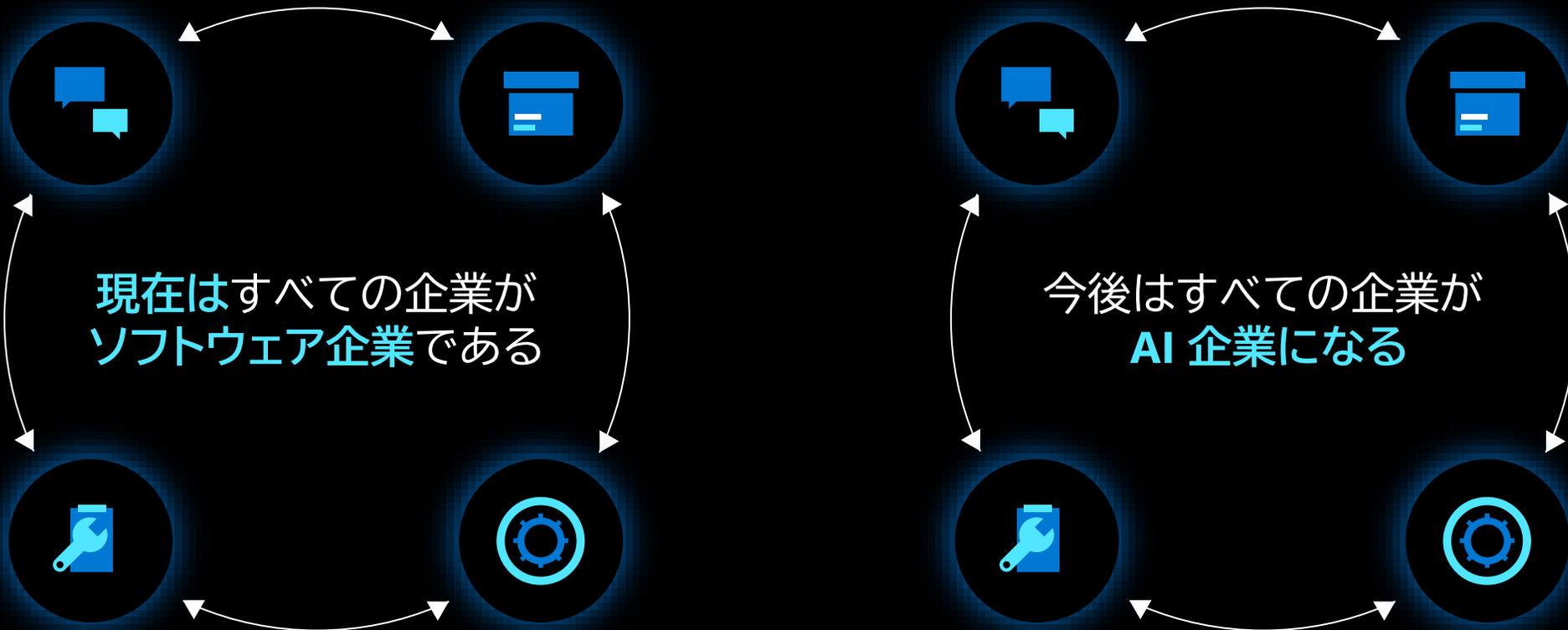


ビジョン

成長戦略やビジョン無きイノベーション設計は、ただの絵にかいた餅である

劇的な転換が起きている

新型コロナウイルス、リモートワークを起点に、常にデジタルとコネクされた状態になり、絶えず変化するお客様の期待は、従来の企業が通常のビジネス活動を見直すきっかけとなっている



AI イノベーションの推進

最先端の研究によって支えられる Microsoft AI



2016

人間と同等の
物体認識



2017

人間と同等の
音声認識



2018

人間と同等の読み取り理解



2018

人間と同等の
機械翻訳



2018

ほぼ人間と同等の
音声合成



2019

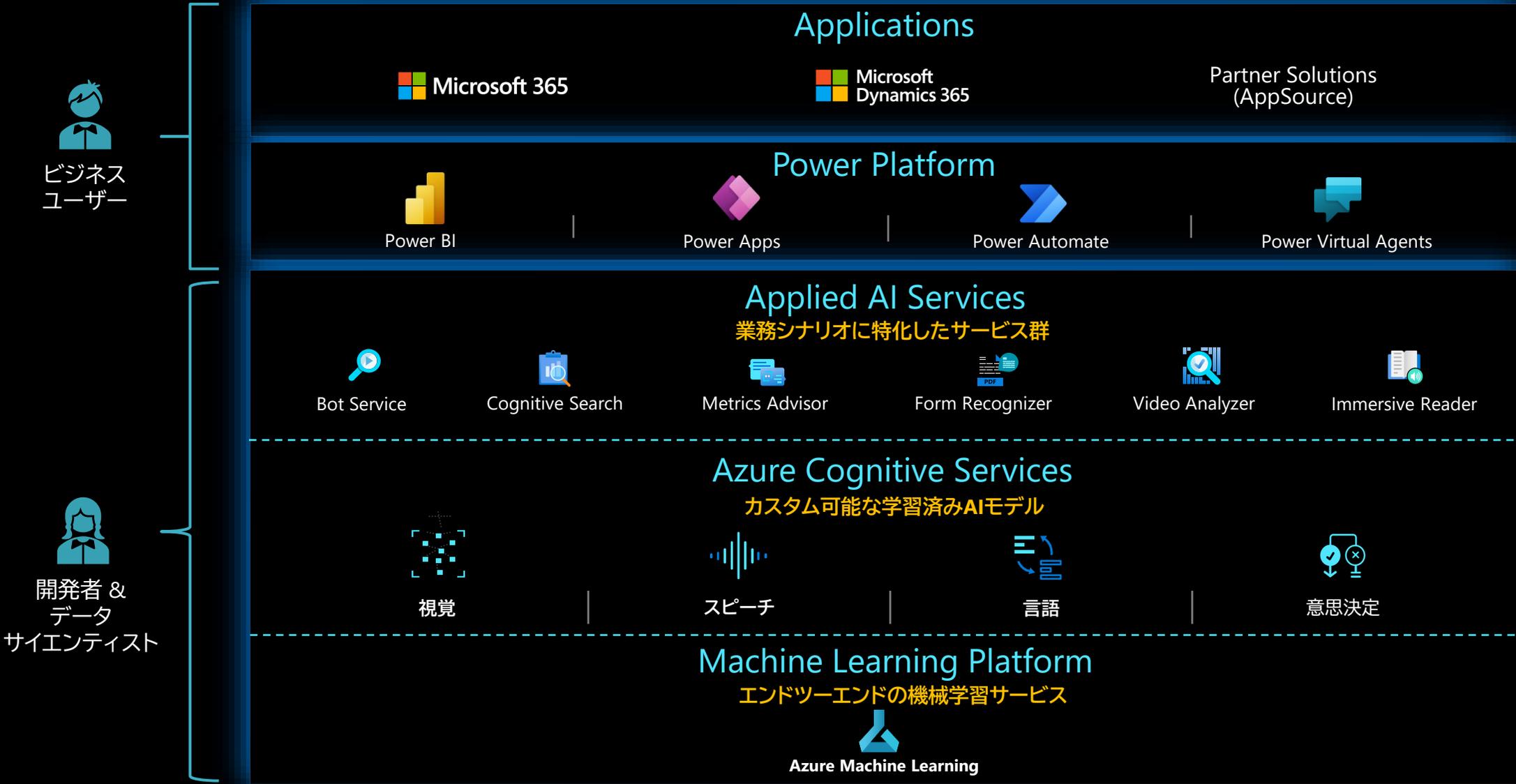
人間と同等の一般言語理解



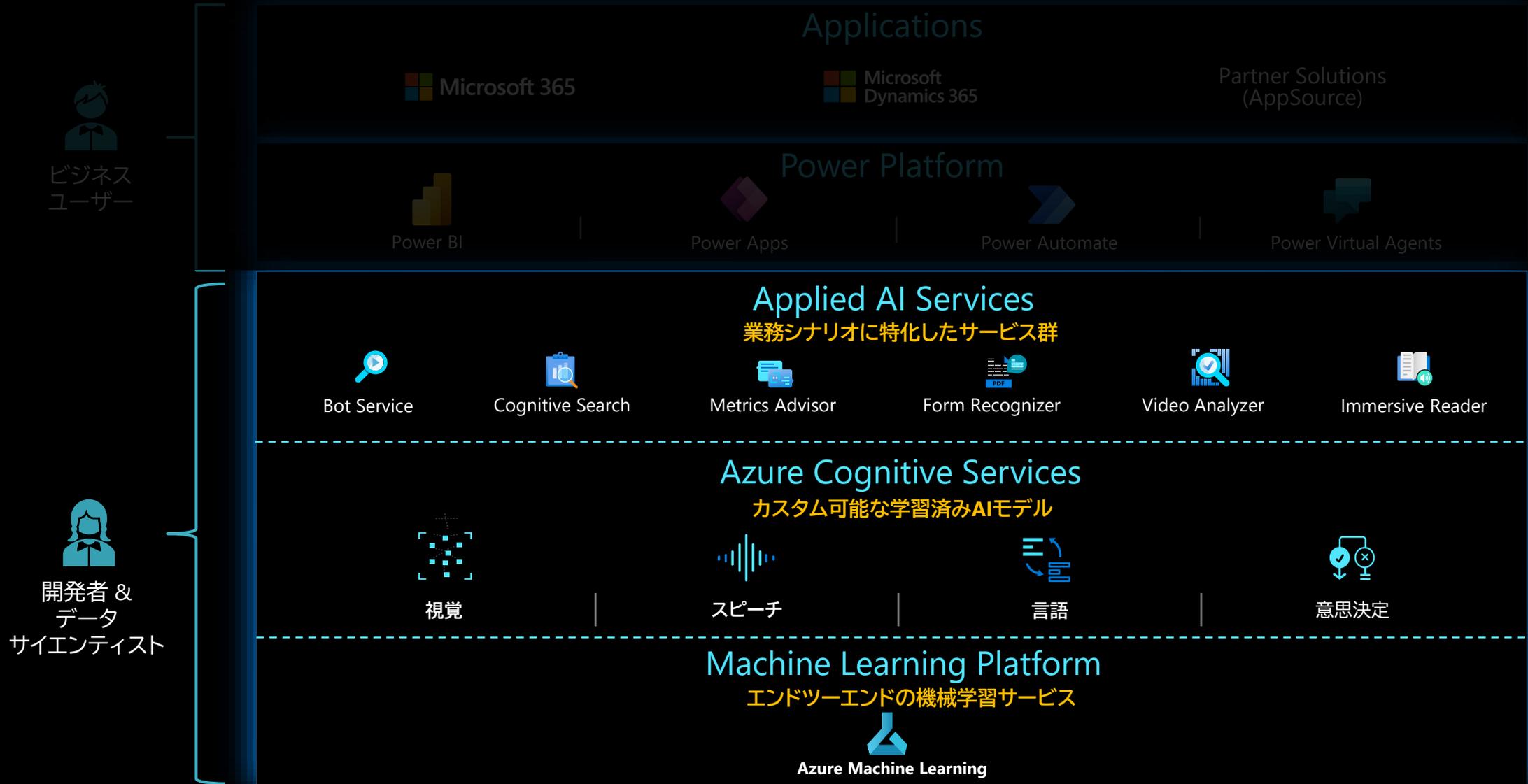
2020

人間と同等の文書の要約

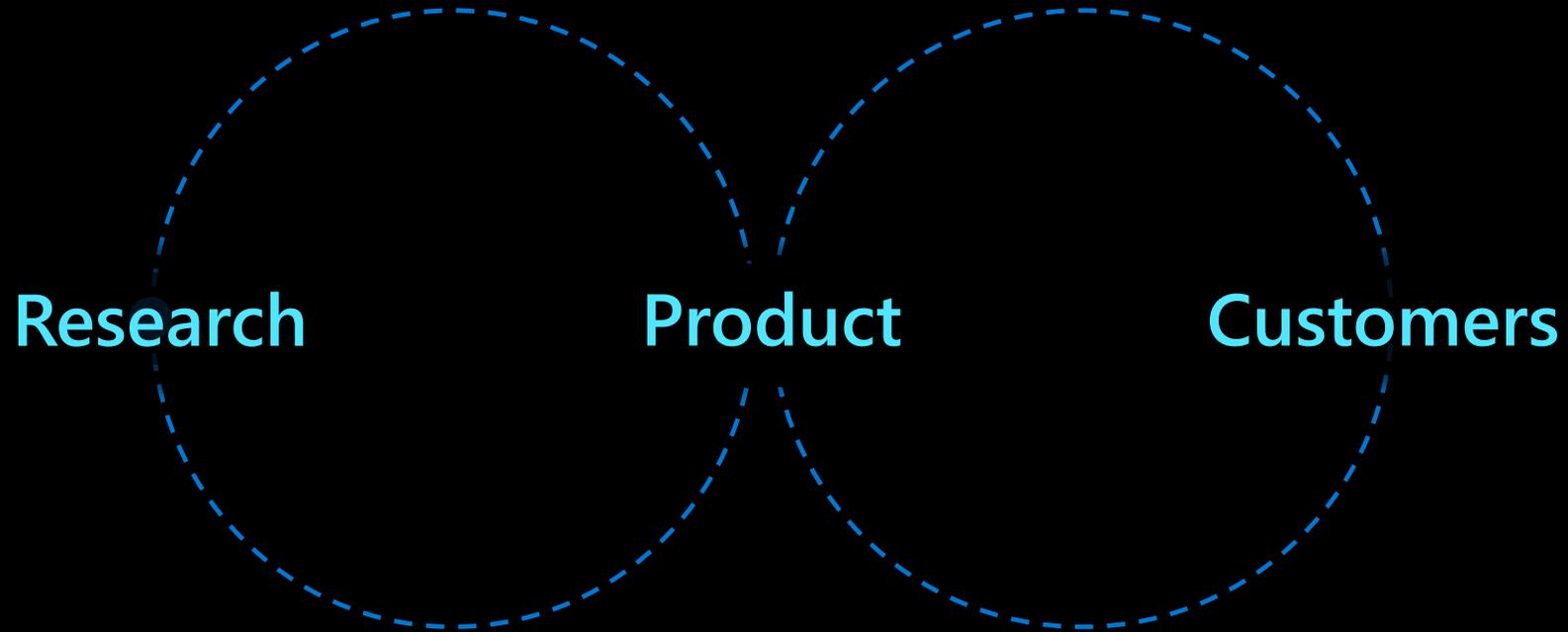
Microsoft Portfolio for AI



Azure AI



AIイノベーションのアプローチ



イノベーションに必要な文化とアーキテクチャは、創造的な価値をビジネスの成果に結びつけるための継続的な革新のループを生み出すことが可能です

マイクロソフト リサーチ

30 年間にわたってアイデアを現実に変換



8 か所の
MSR ラボ

1,000 人以上の
研究者

20以上の
分野

4,000 件以上の
世界中の特許

2万2千以上の
論文

組織全体を支えるAzure AI機能

 Microsoft 365

一般の従業員

 Microsoft
Dynamics 365

コア機能の
ビジネス従業員

 Microsoft
Power Platform

高度な
ビジネス上の役割

 Microsoft
Azure

開発者と
データサイエンティスト



既製

カスタマイズ

Azure AI

マイクロソフトの各プロダクトを
通して大規模なモデル学習を日々実施



Microsoft Teams



Microsoft 365



XBOX

180万

時間の会議を
リアルタイムで
書き起こしや翻訳

10億枚

スライドにも及ぶ
PowerPointスライド
デザインを毎日学習

8,000万

個人にパーソナライズされた
体験を毎日お届け

Microsoft Researchによる研究結果がベース

Azure AI

Azure Applied AI Services



Azure Cognitive Search



Azure Form Recognizer



Azure Bot Service



Azure Video Analyzer



Azure Metrics Advisor



Azure Immersive Reader

Azure Cognitive Services



Language



Vision



Speech



Decision



OpenAI

招待制

Azure Machine Learning



Azure Machine Learning

お客様による AI の導入分野

一般的な5つのビジネスシナリオ

ナレッジ
マイニング

60%

のコンプライアンス
コストの削減

会話 AI

30%

の E コマースが 2030 年ま
でに音声で実行される

ドキュメント プロセスの
自動化

46%

のコスト節約、IT 企業での
プロセスの自動化により

機械翻訳

78%

の言語サービスが
機械翻訳を活用

音声の文字起こしと
分析

64%

のオンライン教育の専門家が
自動文字起こしを使用

カスタム ML モデルの構築、展開、管理

AI導入におけるシナリオ

ナレッジ マイニング



コンテンツ検索

必要な情報を見つけ、
すばやく洞察を獲得

製品検出の最適化

自然言語検索により、
検索の意図に基づいた
直接の回答を顧客に提供

会話 AI



顧客サービス アシスタント

24 時間体制で
質問にすぐに回答

スマートな パーソナライズされた医療

症状やリスク要因を評価し、
次取るべき行動を提案

音声コントロール

音声で
アクセスできるように
ハードウェアで
対応しているボット

ドキュメント プロセスの 自動化



ドキュメントの 理解

重要なドキュメントを自動的に
処理してデジタル化

請求の管理と自動化

手書き書類の手作業での
処理を自動データ入力
プロセスで置き換え

機械翻訳



リアルタイムの 音声翻訳

会話をリアルタイムで翻訳

ドキュメントの翻訳

フォーマットを維持しながら
ドキュメント全体を翻訳

Web ローカライズ

レビューやフォーラムなどの
ユーザー生成のコンテンツも
含め、Web サイトの
コンテンツを翻訳

音声の文字起こしと 分析



通話の文字起こしと 分析

非構造化音声通話データの文字
起こしにより、含まれる価値を
引き出し、傾向および顧客に関
する洞察を特定

マルチメディア コンテンツの キャプション作成

編集と検索用に音声をテキスト
に変換し、アクセシビリティ/イン
クルージョン用に字幕を生成

会話の文字起こし

リモートおよび対面での会議、
公判、学校の講義の
文字起こし

“カルビーのような IT に不得手なユーザー企業にとって、Azure の管理画面の分かりやすさ、使いやすさはとてもありがたいと思っています”

カルビー株式会社
Azure Cognitive Services



“オンプレミス サーバーを一から構築した場合の AI 診断システムと比較すると、Azure 上でのサブスクリプション形 Azure Machine Learning のコストはわずかであり、初期投資を抑えてコンパクトに開発を進める事が可能に”

コマツ産機株式会社
Azure Machine Learning



“Francfranc の DX に必要なツールを提供してくれるのが日本マイクロソフトです。Data Hack も含めて当社に高い価値を提供してくれるパートナーだと思っています”

株式会社Francfranc
Azure Machine Learning



“Azure Machine Learning では自動でパラメーターの調整が可能なおうえ、複数の仮想マシンを同時に立ち上げての並行学習を行えるので、有効なパラメーターを効果的に見つけられました”

佐賀県
Azure Machine Learning
Azure Cognitive Search



“可能性はいろいろと感じています。これからアイデアを創出していきたいと考えています。Azure Cognitive Services を使えば AI を活用するシステムを手軽に作れるので、期待感が高まっています”

まいばすけっと株式会社
Azure Cognitive Services



“今回のプロジェクトで Azure Cognitive Search はもちろん、マイクロソフトが提供する Azure 系サービスの知見を蓄えることができたのは、当社として大きな成果です” (point O)

株式会社丹青社
Azure Cognitive Search



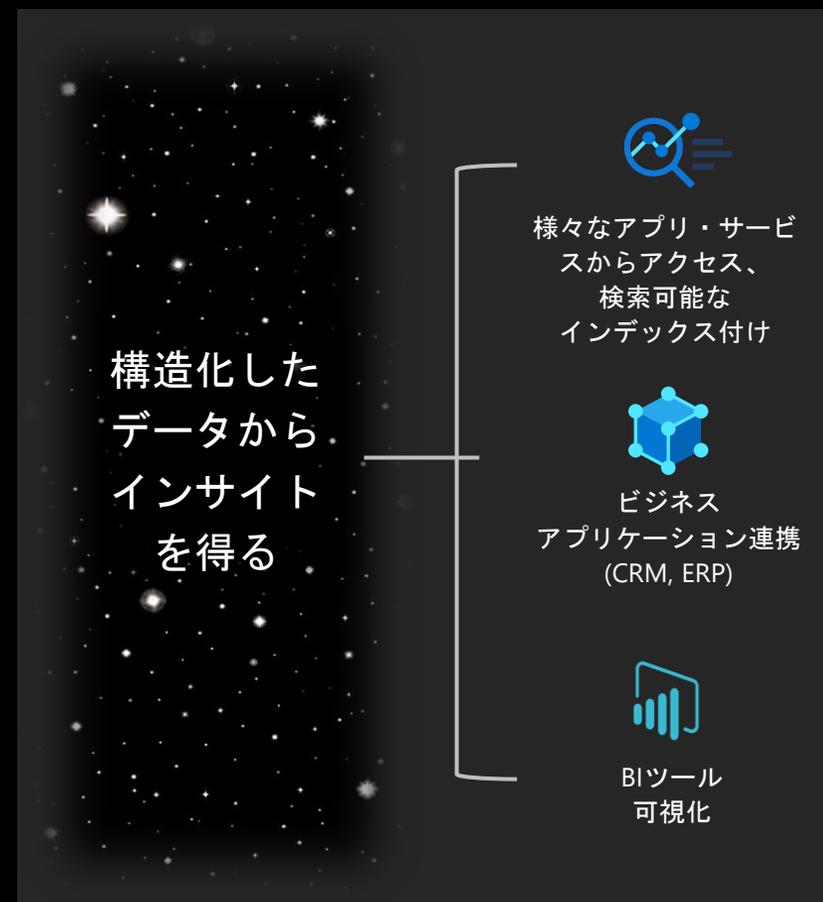
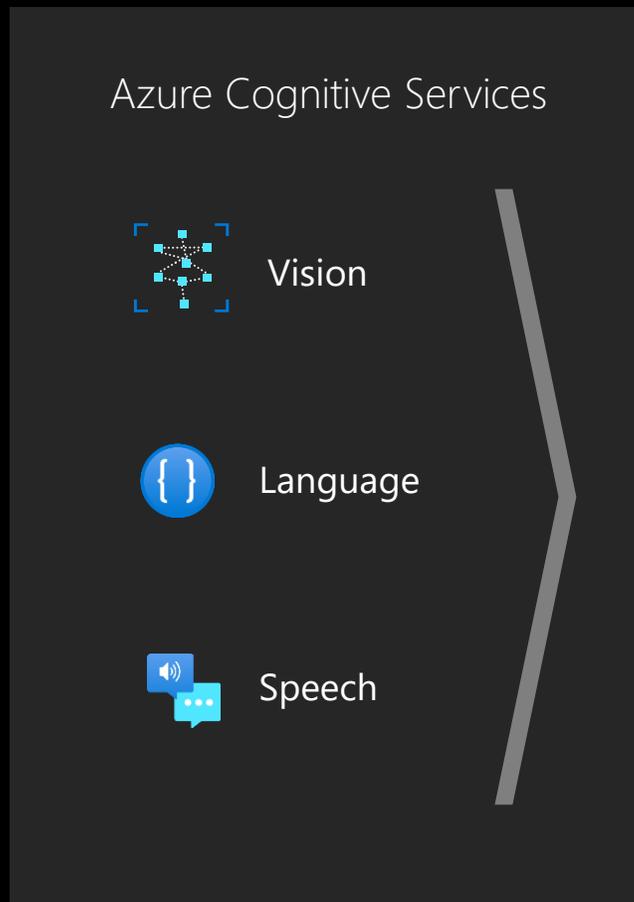
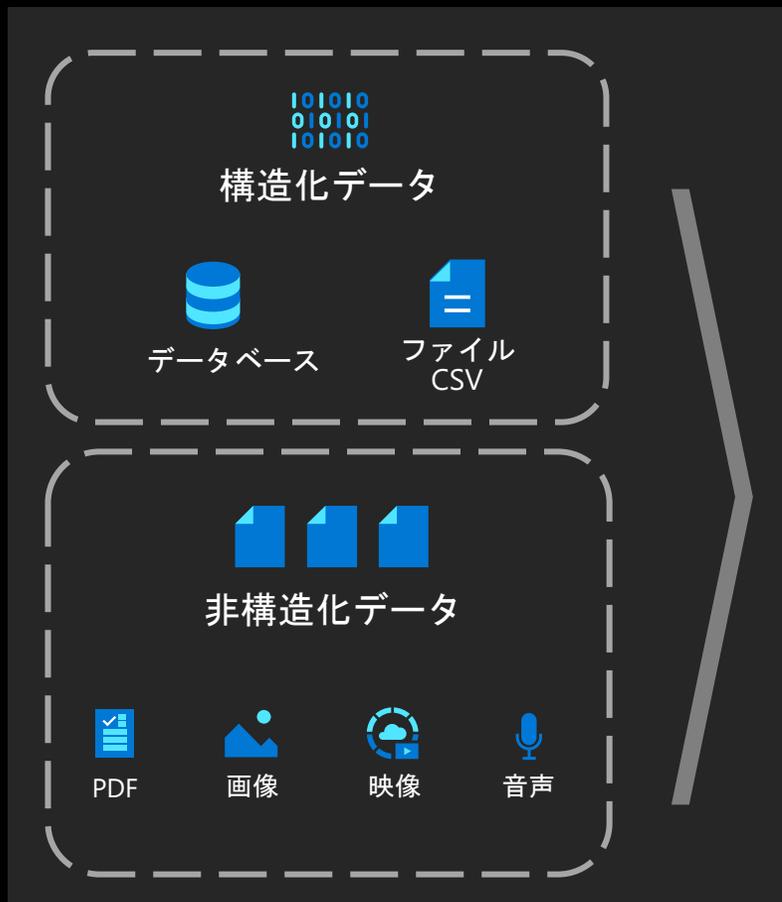
ナレッジマイニングとは？

膨大な量の情報から情報を整理、検索容易性を高めることで、関係性やパターンを発見・検索することができます。

Ingest ▶

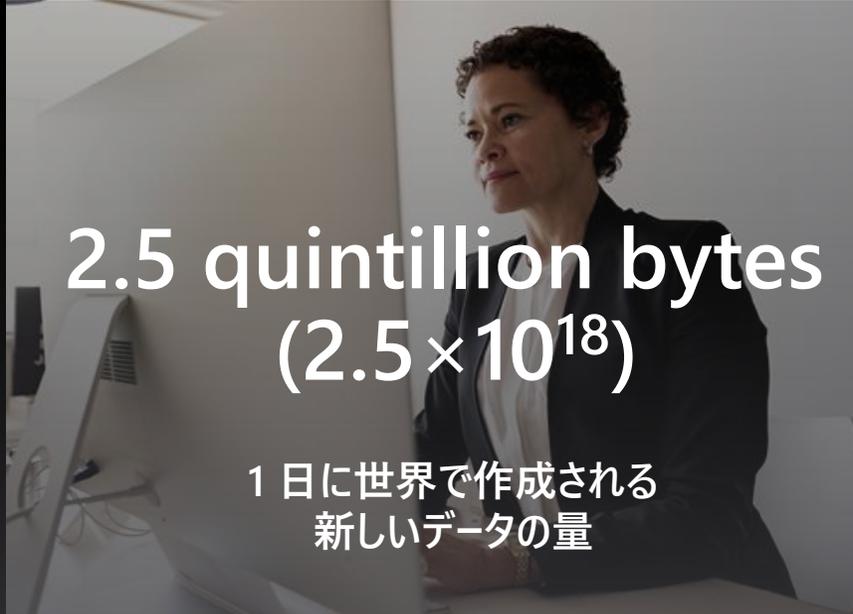
Enrich ▶

Explore ▶



情報を整理することの難易度は高い

コンテンツ検索の面倒な作業を排除し、従業員が難解な資料をすばやく見直せるようにする



2.5 quintillion bytes
(2.5×10^{18})

1日に世界で作成される
新しいデータの量



80%

ビジネスデータの
非構造化データの割合



¥156,000

情報検索によるオフィスワーカーが
年間1人あたりが失っている生産性



コンテンツ検索

ナレッジマイニングを使用してリアルタイムでインサイトを得て、複雑な構造化データの検索容易性を上げることで業務改善へ



コロナ禍による非対面コミュニケーションによる情報共有不足。ナレッジ共有のプラットフォームが必要に



ナレッジマイニングでは、非構造化データからAIを使用して重要な情報を特定、抽出、インデックス付けする



プロジェクトの立ち上げからPoCまでわずか5か月で実装。社内フィードバックでも93%が継続開発を望むという声

イノベーションへのチャレンジと 実ビジネスをAzure AI でつなぐ

1

優先順位をつけて AIを活用する

目的を持ち、事前構築された
AIサービスに任せる部分を割り切る

AIを適用させる領域、
フォーカスする部分を決める

2

小さくまず始める

現在の業務課題を特定し、
小さく早く始める

次の課題を解決するために
ナレッジとして残す

3

横展開や領域横断の 可能性を再考する

大規模な AI/MLへのスケール検討
自動から自律への転換

意識改革
(経営陣・メンバー共に)

丹青社様とのナレッジマイニングPoC・実証実験も募集しておりますので、
ご興味のある方はページ内のお問い合わせボタンをご確認ください。



Azure AIを活用した ナレッジマイニングの取り組み

株式会社丹青社

アジェンダ

■丹青社企業紹介/point 0紹介

■Azure AIを活用したナレッジ共有の取り組み

①社内PoC：課題解決のためのA I活用

②point 0 PoC：可能性の模索

③取り組みの裏側にあったものと更なる展開

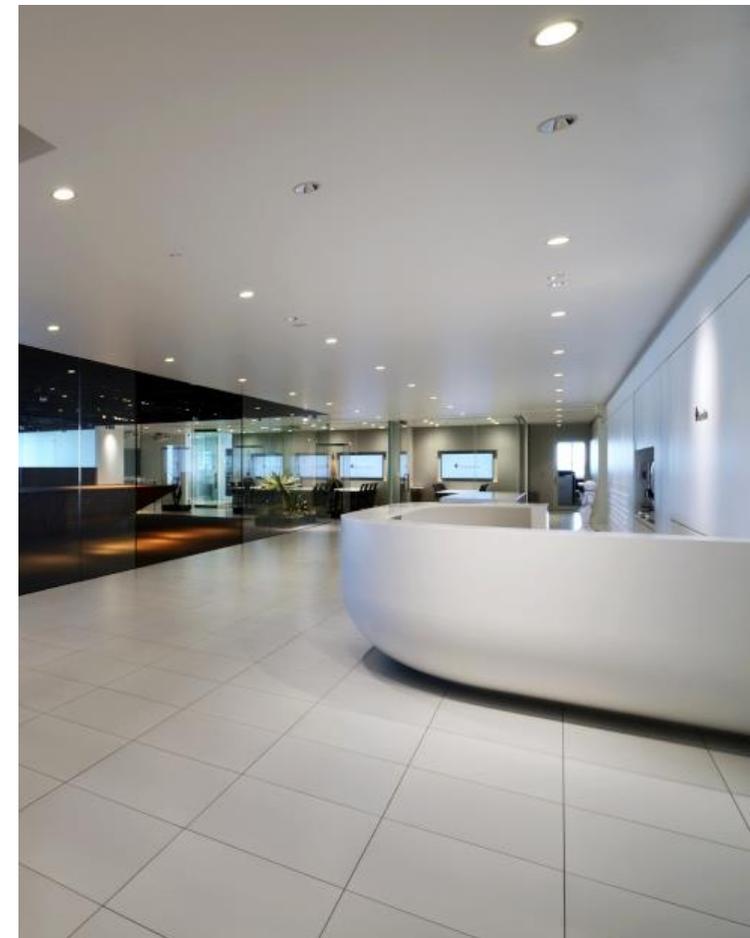
会社紹介 -コーポレートステイトメント-



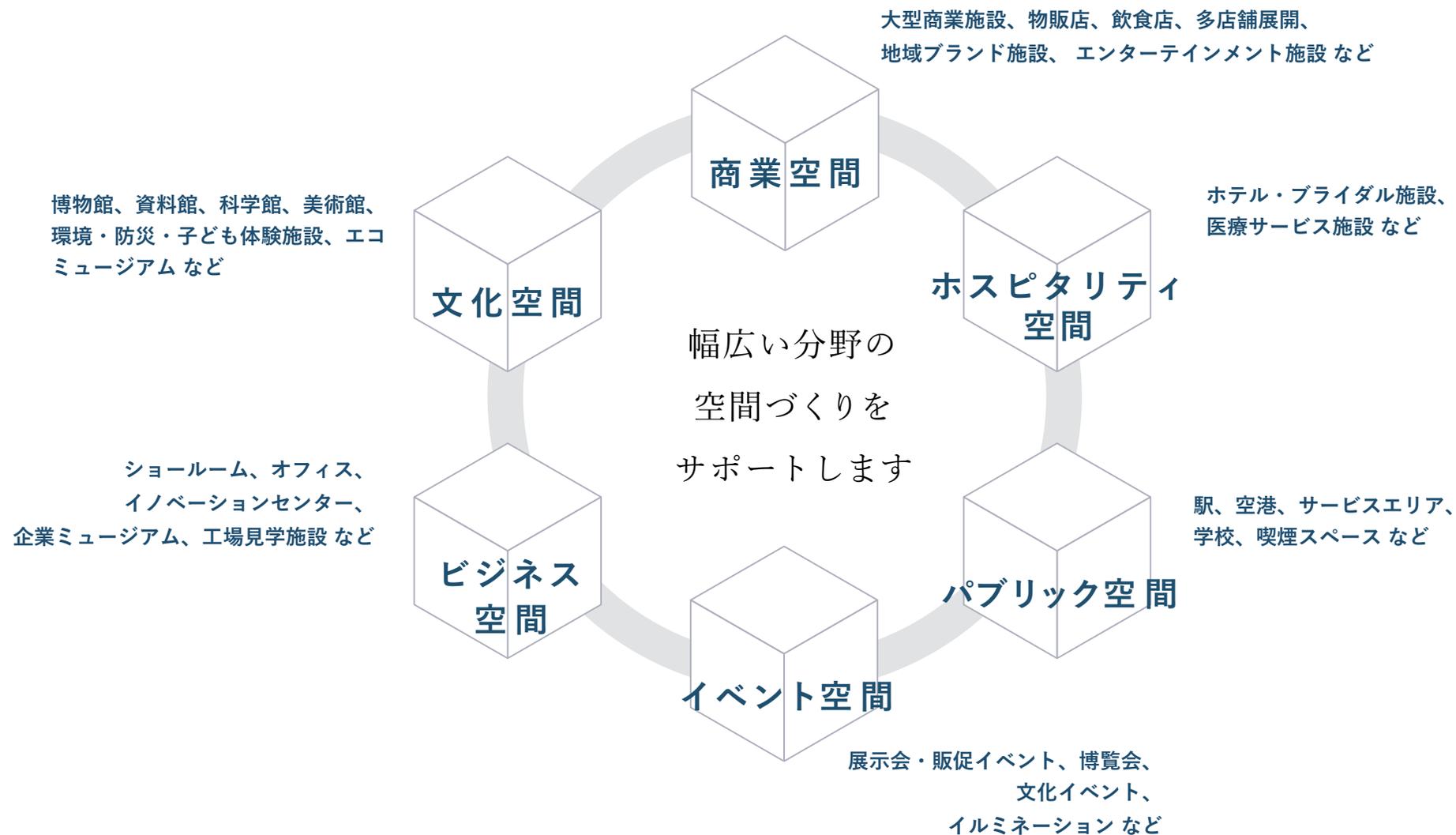
こころを動かす空間を
つくりあげるために。

会社概要

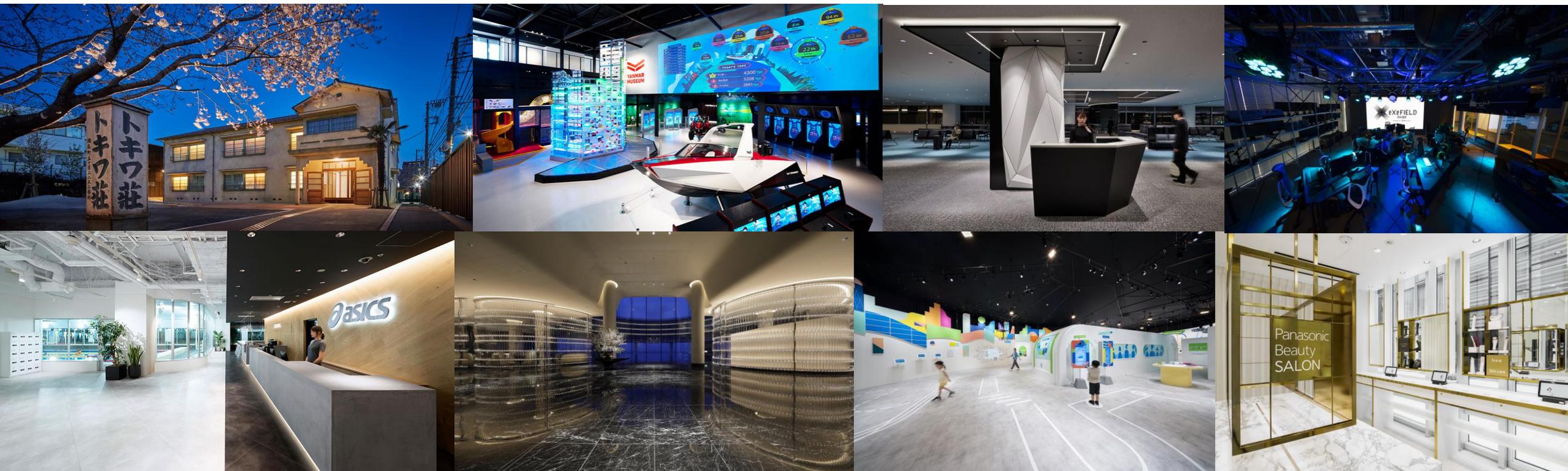
商号	株式会社丹青社（英文名：TANSEISHA Co., Ltd.）
本社所在地	東京都港区港南1丁目2番70号品川シーズンテラス19F 〒108-8220
創業	1946年10月
事業内容	総合ディスプレイ業 [商業空間・ホスピタリティ空間・パブリック空間・ビジネス空間・イベント空間・文化空間の調査・企画、デザイン・設計、制作・施工、運営]
資本金	40億2,675万657円（2021年1月31日現在）
売上高	692億25百万円（2021年1月期・連結） 669億44百万円（同・単体）
代表取締役社長	高橋 貴志
従業員数	1,296名（2021年1月31日現在・連結） 1,016名（同・単体）
上場	東京証券取引所市場第一部（証券コード：9743 / 業種名：サービス業）



会社紹介 -事業領域-



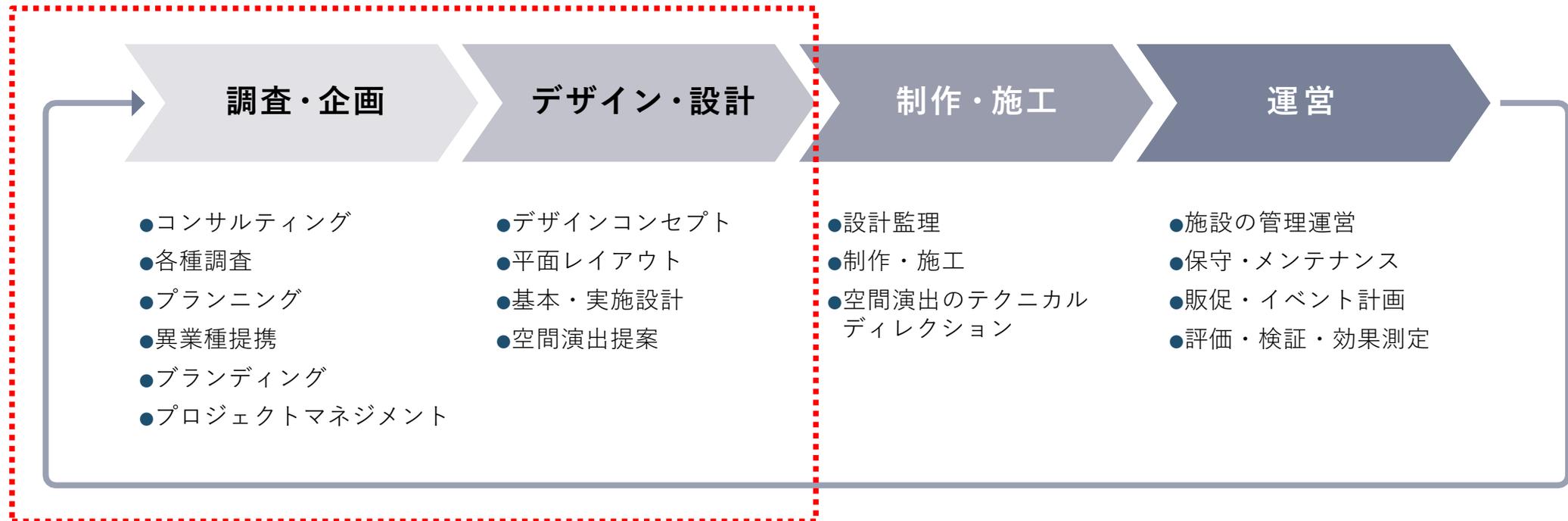
WORKS



撮影：フォワードストローク、御園生 大地、株式会社 ナカサアンドパートナーズ、RINO KOJIMA（ライツ撮影事務所）

会社紹介 - サービスラインナップ -

空間づくりのプロセスを一貫してサポート



Planning&Design

カタチ・色・質感だけではない体験のストーリーづくり
情報を選び、編集することで効果的に「ところを動かす」

広島平和記念資料館本館



撮影：株式会社 ナカサアンドパートナーズ

経営方針：デジタル活用・DXを重要項目として取り組む

戦略と施策

戦略1 売り物づくり

- (1) デジタル活用による売り物づくり
- (2) 地域創生ソリューションの開発

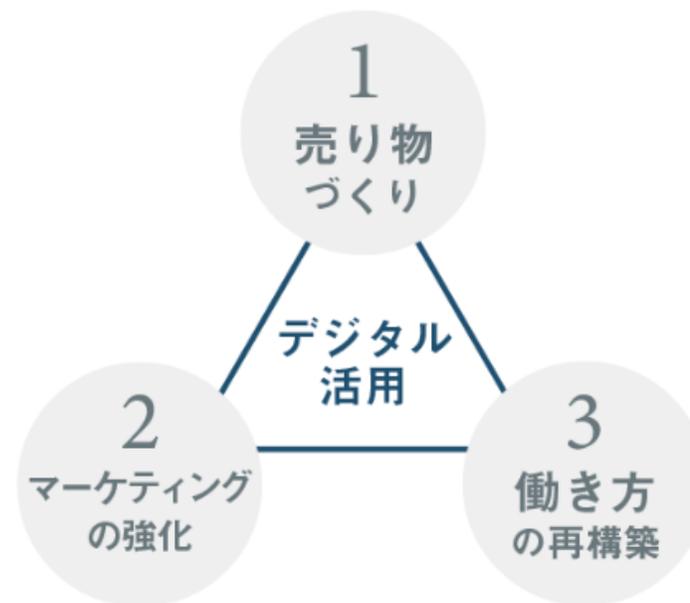
戦略2 マーケティングの強化

- (1) デジタルマーケティングの実践・拡充

戦略3 働き方の再構築

- (1) 業務プロセスの見直し
- (2) ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- (3) BIM (※) の導入・活用

※Building Information Modeling



中期経営計画（2022年1月期～2024年1月期）より抜粋

会社紹介 -ソリューション-



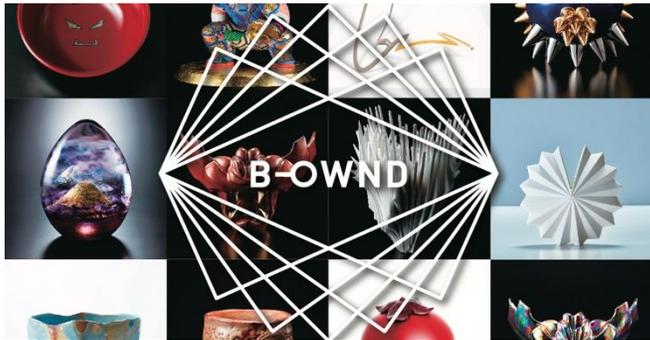
先端デジタル技術による空間創造



地域創生の支援



施設運営のトータルプロデュース



工芸・アートによる空間価値向上



新たな空間価値創出のための協創



ファシリティの総合保守サポート

point 0紹介 -新たな空間価値創出のための協創-

-point 0 marunouchi-

「未来のオフィス空間」を実現していくための会員制ワーキングスペース



■ 名称：point 0 marunouchi（ポイントゼロ マルノウチ）

■ 所在地：東京都千代田区丸の内2-5-1
丸の内二丁目ビル4F

■ アクセス：東京駅より徒歩3分（地下直結）

■ 敷地面積：1,082㎡

■ 総席数：250席

■ 料金：個室・月額会員 1人105,000円～/月（税別）
自由席・都度利用 250円～/15分（税別）

■ 開業日：2019年7月16日（火）

丹青社参画日：2020年1月24日（金）

■ iF Design Award 2020受賞

point 0紹介 -新たな空間価値創出のための協創-

-point 0の目的-

IoTネットワークインフラ、各社が保有するデータを共有し、新たな価値創出へ

効率
究極のパーソナライズ化による生産性向上

創造
コミュニケーション活性化を中心とした創造性の発揮

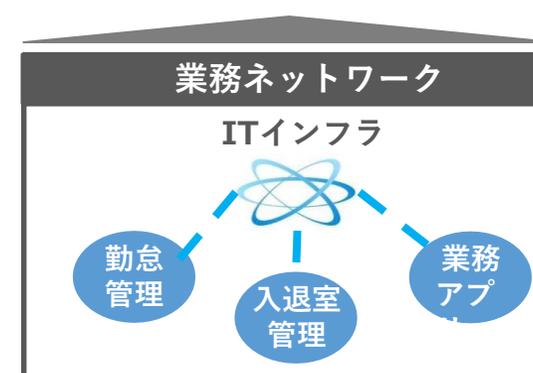
健康
働き方の見える化を通じた健康支援

オープン空間データベースプラットフォーム (=CRESNECT)

データ収集

可視化

分析



point 0紹介 -新たな空間価値創出のための協創-

-point 0の参画企業-

総勢 20社まで拡大

Membership	ランク	該当企業
Board Member	プラチナ	
	ゴールド	
Core Member	シルバー	

※ブロンズランクで空研工業、電通国際情報サービス

アジェンダ

■丹青社企業紹介/point 0紹介

■Azure AIを活用したナレッジ共有の取り組み

①社内PoC：課題解決のためのA I活用

②point 0 PoC：可能性の模索

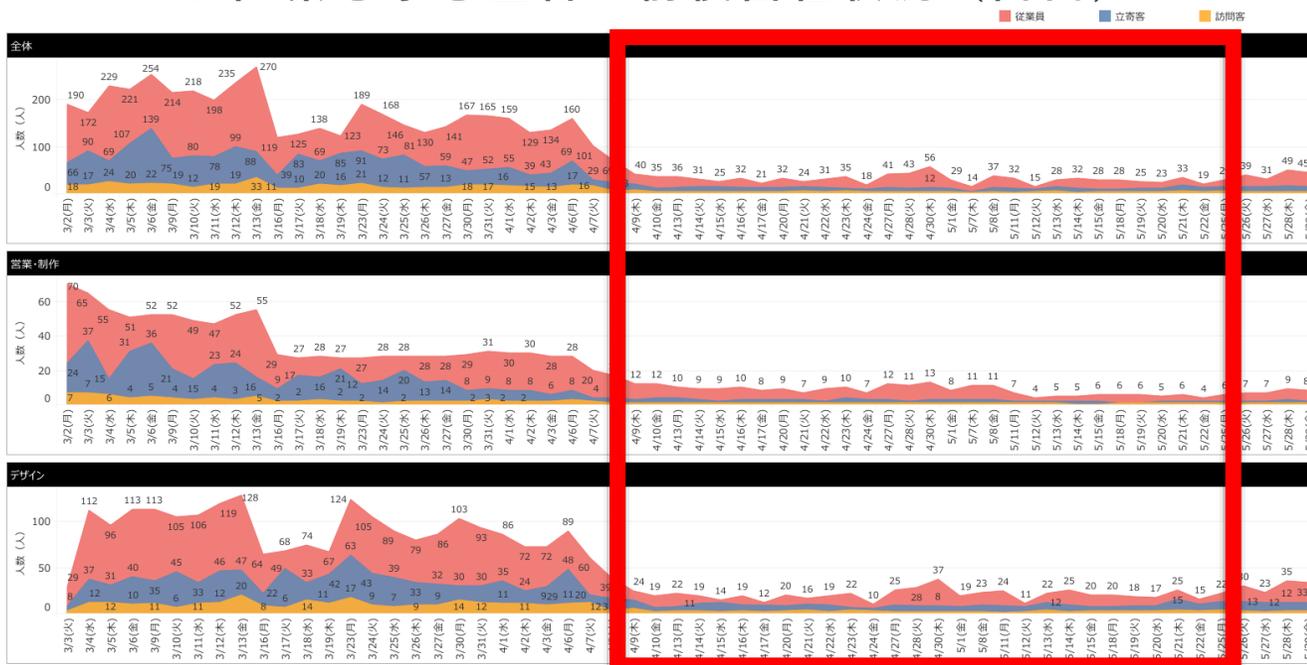
③取り組みの裏側にあったものと更なる展開

ナレッジ共有における課題 -自社-

With Covid-19

オフィス出勤率が4割以下となり、コミュニケーション量減少と質の低下という問題が顕在化し、ナレッジ共有が課題に

'20年 緊急事態宣言の前後出勤状況（関西）



テレワークに関する管理職アンケート

コミュニケーションの量に悪い影響

63%

コミュニケーションの質に悪い影響

47%

※丹青社管理職アンケート'20年9月末

無断転用／転載禁止

ナレッジ共有における課題 -自社-

自社PoC：企画書ナレッジマイニング

受注に直結する「顧客向け企画書」にフォーカスして取り組み。
様々な形式が混在し画像やアウトライン化した
コンテンツが多数存在。
内容としても複雑になっているため、
単なるジャンル分けなどでは不十分などの課題が山積。

そのような中、Microsoft濱田様から提案を受け、
Azureを活用したPoCに取り組む。

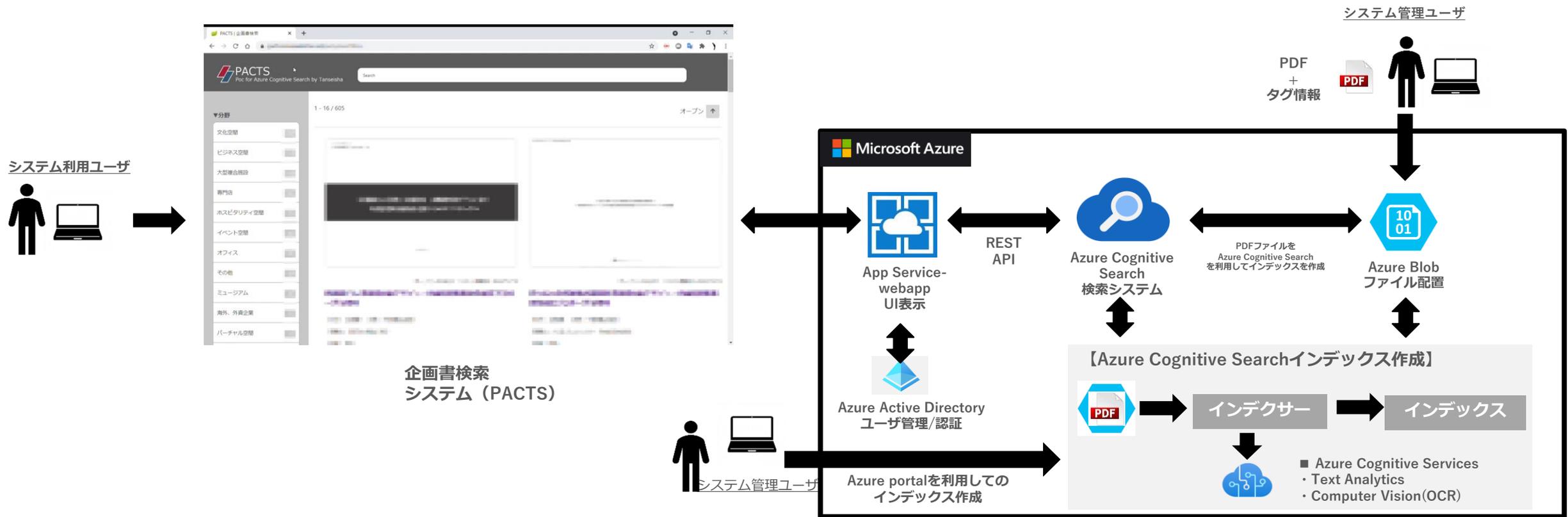
Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

自社PoC -Azure Cognitive Search選定時の必要与件-

- クライアントの要望が多様化しており全文検索したい
- アウトライン化されテキスト抽出が難しいファイルがある
- 大量の画像データやイラスト、スキャンデータなど非構造化データが含まれるものばかり
- 専属人員は難しいため、タグ付けの自動化などを実現したい
- UIが難しいと利用されないため自由度の高いツールが良い。
- 複数のファイル形式が混在しており、一括で検索したい

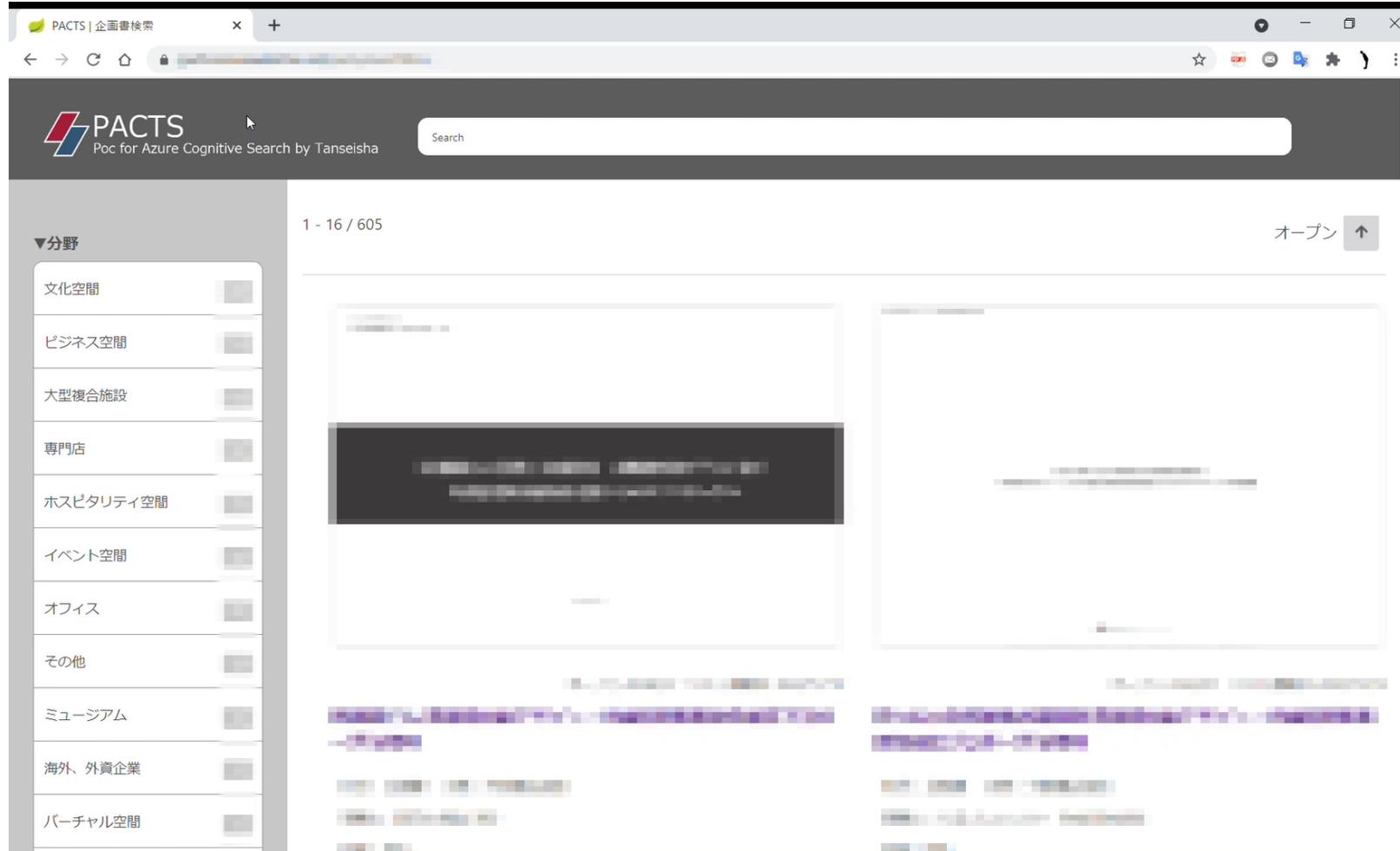
Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

自社PoC -システム構成図 & 画面イメージ-



Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

自社PoC -画面-



Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

自社PoC -スケジュール-

- 10月 point 0でマイクロソフト濱田氏より Azure活用の提案を立ち話で受ける。
 - 11月 社内決裁
 - 12月 システム与件整理（データオーナーとの協議）
 - 2021年
 - 1月 システム構築
 - 2月 PoC実施、アンケート実施・集計
- ⇒わずか5か月でPoCを完了

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

自社PoCを終えて

- ・ 開発継続意向は9割を超え、特に部門横断での情報検索できる点で評価が高い
- ・ 続いてUIに対する評価が高く、全文検索、タグ検索についても好意的な意見が多かった。

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

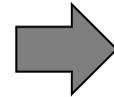
自社PoC –事務局所感–

- iSiDやMicrosoftの手厚いサポートがあったため、タスクフォース主導で推進し、情報システム部門が後方支援するスキームでスピード感持って進めることができた。
- 比較的プロジェクトはスムーズに進んだものの企画書は秘匿性の高いデータのため、データオーナーとの協議は苦勞した。
世界的企業であるマイクロソフトのソリューションという信頼感もあり、承諾にこぎつけることができた。

PoCへ経て

企画書に限らず竣工写真、現場写真、図面など自社保有データを一元管理するPJと連動して本格導入へ

CIERTO



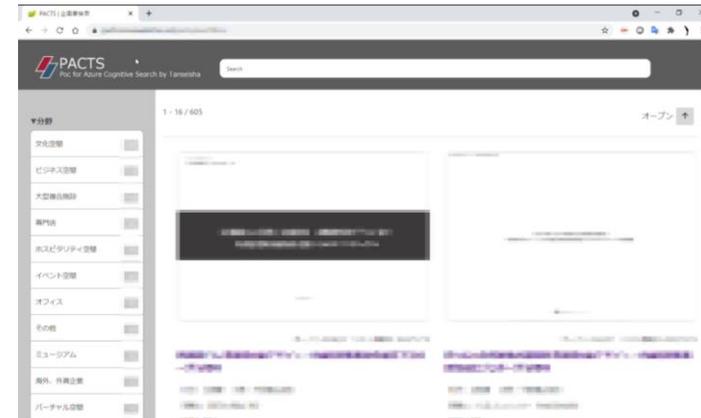
Azure

管理
閲覧

閲覧

竣工写真
企画書
現場写真
図面
議事録

企画書



アジェンダ

- 本日のアウトラインの紹介
- 丹青社企業紹介/point 0紹介
- **Azure AIを活用したナレッジ共有の取り組み**
 - ① 社内PoC：課題解決のためのAI活用
 - ② **point 0 PoC：可能性の模索**
 - ③ 取り組みの裏側にあったものと更なる展開

ナレッジ共有における課題 -point 0 marunouchi-

参画企業の増加に加え、コロナ禍で個室利用の増加、会議室の利用が低下、隔週の全体会議や月次のイベントがオンライン主体でナレッジ共有に課題も見られるようになった。

参画企業数の増加

'19年7月

'21年6月末

9社 ▶ **20社**

参画企業数の増加によって情報の絶対量が増加。各社の取組み把握が難しくなってきた

With Covid-19

雑談などインフォーマルなコミュニケーションが減少した

出張ベースで来ていたメンバーが来なくなった

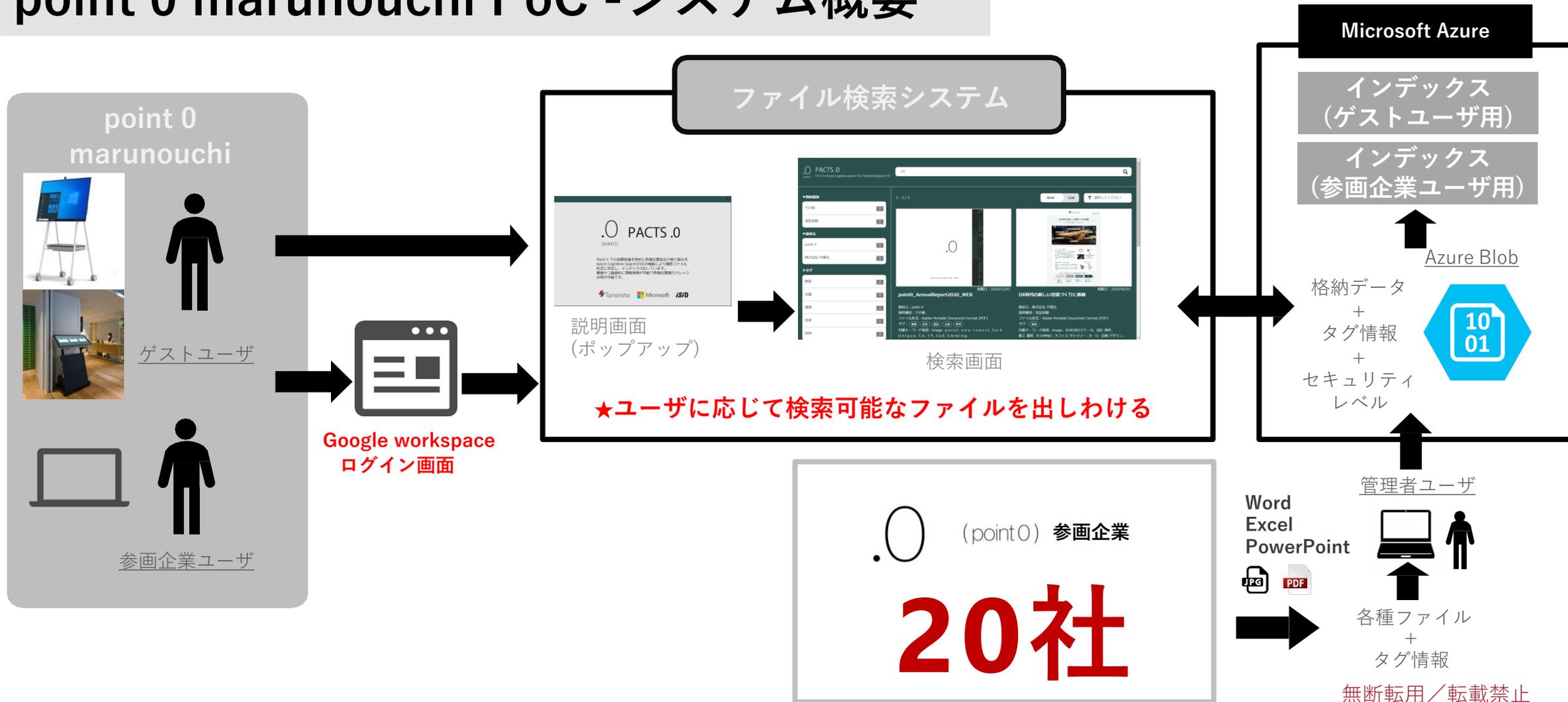
Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchiで求められたこと

- ・ 更なる共創の促進に向けpoint 0 marunouchi（施設）とオンライン共通のナレッジ共有プラットフォームが欲しい
- ・ point 0 marunouchi見学者から実証実験や他社の取り組みを聞かれた時にタイムリーに回答できるようにしたい。
- ・ NDAを交わしたコミッティ企業間では、NDAベースで深いレイヤーでナレッジ共有したい

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchi PoC -システム概要-



Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchi PoC-権限設定 -

想定ユーザ	セキュリティレベル	備考
point 0 marunouchi 見学者・ゲスト	レベル 1 全共有	<ul style="list-style-type: none"> ユーザはpoint0に設置済みの以下どちらかの端末を利用 <p>Surface Hub2</p>  <p>VisualTiles®</p> 
参画企業ユーザ	レベル 2 参画企業間共有	<ul style="list-style-type: none"> ユーザは各自の端末を利用 -Laptop PC 各社のpoint 0 のGsuiteアカウントにて PoCサイトにログインが可能
	レベル 3 参画企業社内利用	

無断転用／転載禁止

利用・画面イメージ

ホーム画面

0 PACTS .0
PoC for Azure cognitive search for Taneisha/point 0

資料種別

- その他 3
- ソリューション・カタログ 1
- 実証実験 1

ファイル形式

- Adobe PDF 5

提供元

- 日本マイクロソフト 株式会社 2
- 株式会社 丹青社 2
- TOA株式会社 1
- point 0 1
- アサヒビール 株式会社 1
- モンデリーズジャパン 株式会社 1
- ライオン 株式会社 1
- 三菱地所 株式会社 1
- 東京海上日動火災保険 株式会社 1
- 株式会社 オカムラ 1

1 - 5 / 5

Grid List ▼ 選択してください

[PoC - 9] 参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験

.0 PACTS .0
(point0)

Point 0 での協業促進を目的に参画企業各社の取り組みを Azure Cognitive Search の OCR 機能により複数ファイル形式に対応し、インデックス化しています。
簡単かつ直感的に情報検索が可能で参画企業間のナレッジ共有が可能です。

Taneisha Microsoft iSiD

掲載日: 2021/04/27

point0とは? point0に参画している企業の生の声

point 0とは ~point 0に参画している企業の生の声~

提供元: ライオン 株式会社、アサヒビール 株式会社、TOA株式会社、東京海上日動火災保険 株式会社、モンデリーズジャパン 株式会社、野村不動産ホールディングス 株式会社、日本マイクロソフト 株式会社、三菱地所 株式会社
資料種別: その他
ファイル形式: Adobe Portable Document Format (PDF)
タグ: 健康 効率 創造

提供元: ライオン 株式会社、アサヒビール 株式会社、TOA株式会社、ASAHI SUPER DRY、TOA企業概要、point0とは、point0とは、point0に参画している企業の生の声、point0に参画している企業の生の声、TOA参画目的、ASAHI BEER、TOAのコアコンピタンスである、

ホーム画面

注意事項やお知らせ等を定期的に表示可能。

The screenshot displays the PACTS .0 web application interface. On the left, there is a sidebar with filters for '資料種別' (Document Type) and 'ファイル形式' (File Format). The main content area shows a search result for a document titled '[PoC - 9] 参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験'. A modal window is open over the document content, displaying the PACTS .0 logo and a description of the PoC project. A red callout box highlights that the ID can be used to set the presence of the pop-up screen and that it will reappear after a certain period.

Callout Box Text:

- IDによってポップアップ画面の有無の設定が可能
- 一定時間が過ぎると再度ポップアップする

Document Details (Left Column):

- 資料種別: その他 (3)
- ソリューション・カタログ (1)
- 実証実験 (1)
- ファイル形式: Adobe PDF (5)
- 提供元: 日本マイクロソフト 株式会社 (2), 株式会社 丹青社 (2), TOA株式会社 (1), point 0 (1), アサヒビール 株式会社 (1), モンデリーズジャパン 株式会社 (1), ライオン 株式会社 (1), 三菱地所 株式会社 (1), 東京海上日動火災保険 株式会社 (1), 株式会社 オカムラ (1)

Document Details (Right Column):

- point 0 とは? point0に参画している企業の生の声
- 提供元: ライオン 株式会社, アサヒビール 株式会社, TOA株式会社, 東京海上日動火災保険 株式会社, モンデリーズジャパン 株式会社, 野村不動産ホールディングス 株式会社, 日本マイクロソフト 株式会社, 三菱地所 株式会社
- 資料種別: その他
- ファイル形式: Adobe Portable Document Format (PDF)
- タグ: 健康, 効率, 創造, 会議, 作業
- 自動キーワード取得: image, Asahi ASAHI SUPER DRY, TOA企業概要, point0 とは, point0とは, point0に参画している企業の生の声, point0に参画している企業の生の声, TOA参画目的, ASAHI BEER, TOAのコアコンピタンスである,

キーワード検索結果 該当キーワードを含む資料を検索できる

The screenshot displays the PACTS.0 search interface. At the top, the search bar contains the keyword '丹青社'. The left sidebar features several filter categories: '資料種別' (Document Type) with 17 items, 'ファイル形式' (File Format) with 16 items, and '提供元' (Provider) with 20 items. The main content area shows search results for '丹青社', including a document titled '気分測定ツールやセンサーを使ったアート' (Art using mood measurement tools and sensors). A red callout box points to the search input field, and another points to the search results, listing the information displayed: file name, thumbnail, creation date, text information from the plan, and tag information. A third callout box points to a magnifying glass icon on a document thumbnail, explaining that clicking it shows detailed image tag information and that clicking a tag refines the search. At the bottom, a red callout box indicates that automatic tagging is based on keywords.

検索入力欄

- 検索結果として以下を表示
 - ファイル名
 - サムネイル
 - 作成日
 - 企画書内の文字情報
 - タグ情報

- イメージタグ情報の詳細は⊕ボタンをクリックすると表示
- タグをクリックするとクリックしたタグにて検索

キーワードに基づく自動タグ付け

キーワード検索結果×分類による絞り込み さらに分類を選択することで、資料の更なる絞り込みをかけることが可能。

PACTS .0
PoC for Azure cognitive search for Tanseisha/point 0

丹靑社

▼資料種別
基本情報 2

▼ファイル形式
Microsoft PowerPoint 2

▼提供元
株式会社 丹靑社 2

▼タグ
創造 2

1 - 2 / 2

Grid List 選択してください

- 各タグをクリックすると検索文字列とのAND条件で絞り込み検索を実施
- カテゴリについてはキーワードに基づく自動タグ付けと事前設定項目を使用
- 複数の分類を選択することも可能

スライド資料_会社案内2021_丹靑社
掲載日: 2021/04/01
提供元: 株式会社 丹靑社
資料種別: 基本情報
ファイル形式: Microsoft PowerPoint (OpenXML)
タグ: 創造
自動キーワード取得: 無断転用、転載禁止、制作、連絡、単体、日現在、人とモノ、人と人、会社概要、エンターテインメント施設 など、

スライド資料_実績紹介2021_丹靑社
掲載日: 2021/04/01
提供元: 株式会社 丹靑社
資料種別: 基本情報
ファイル形式: Microsoft PowerPoint (OpenXML)
タグ: 創造
自動キーワード取得: 実績紹介、ウェブサイト、業務範囲、事業主、オープン、所在地、無断転用、転載禁止、より抜粋、施工、

資料閲覧

検索したキーワードの該当箇所がハイライト表示される

The screenshot displays the PACTS.0 search interface. On the left, there is a sidebar with filters for document type, format (Microsoft PowerPoint), provider (Tanseisha), and tags. The main area shows a search result for '丹青社グループ' (Tanseisha Group) on slide P8, which is highlighted in yellow. A red callout box points to this highlight with the text '該当箇所がハイライトされる'. Another red callout box points to the '全画面表示を可能に' (Enable full-screen display) option in the bottom right of the slide viewer. The interface also shows a table of contents for slides P7 through P22, with corresponding descriptions like '一拠点', '事業紹介', and 'サービスラインナップ'. The footer of the slide includes the Tanseisha logo and the page number '2'. A date stamp '掲載日: 2021/04/01' is visible in the bottom right corner of the slide area.

Slide ID	Description
P7	一拠点
P8	丹青社グループ
P11	事業紹介 - 3つの空間づくり
P12	サービスラインナップ
P20	6つの空間分野
P21	
P22	

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchi PoC-スケジュール-

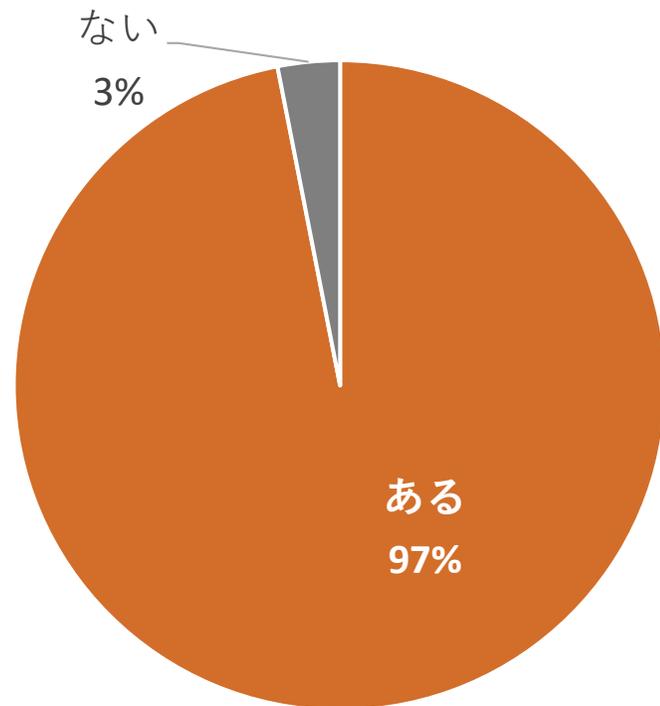
- 2月 ナレッジ共有課題の整理、プレヒアリングの実施
- 3月 システム与件整理
- 4月 システム構築、PoC開始
- 5月 データ追加格納、アンケート、インタビュー実施

→4か月でPoCを完了

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

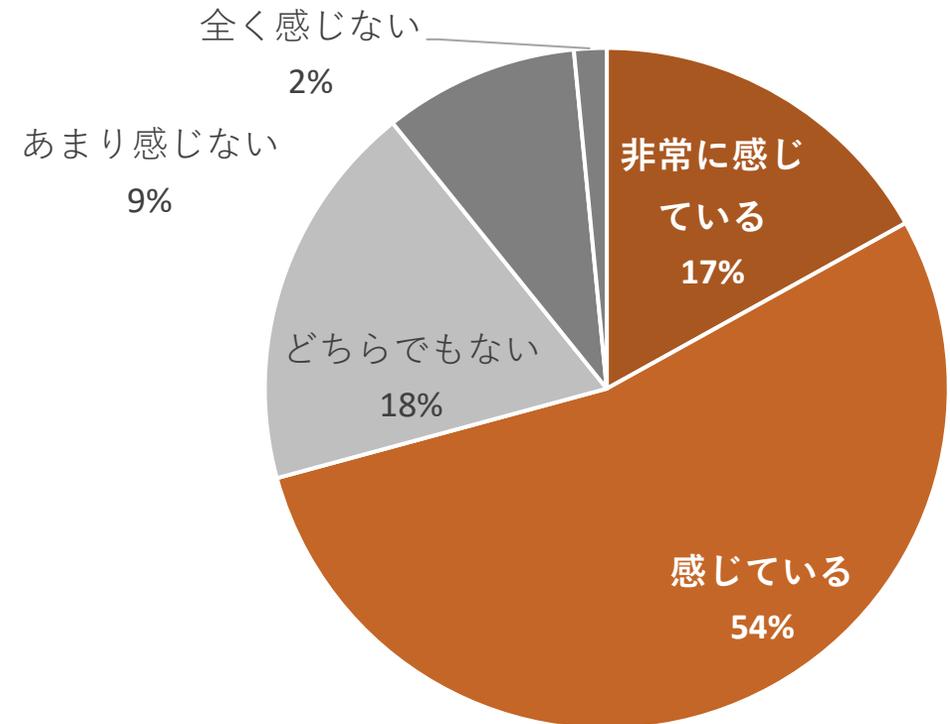
point 0 marunouchi PoC -アンケート結果抜粋-

自社の他部門や他社のナレッジを得るのに苦勞したことはありますか？



ナレッジ取得に苦勞した経験がある方は97%

コロナ禍以前に比べてテレワーク増加に伴うナレッジ共有に難しさは感じていますか？



コロナ禍でナレッジ共有の難易度が上がった方は71%

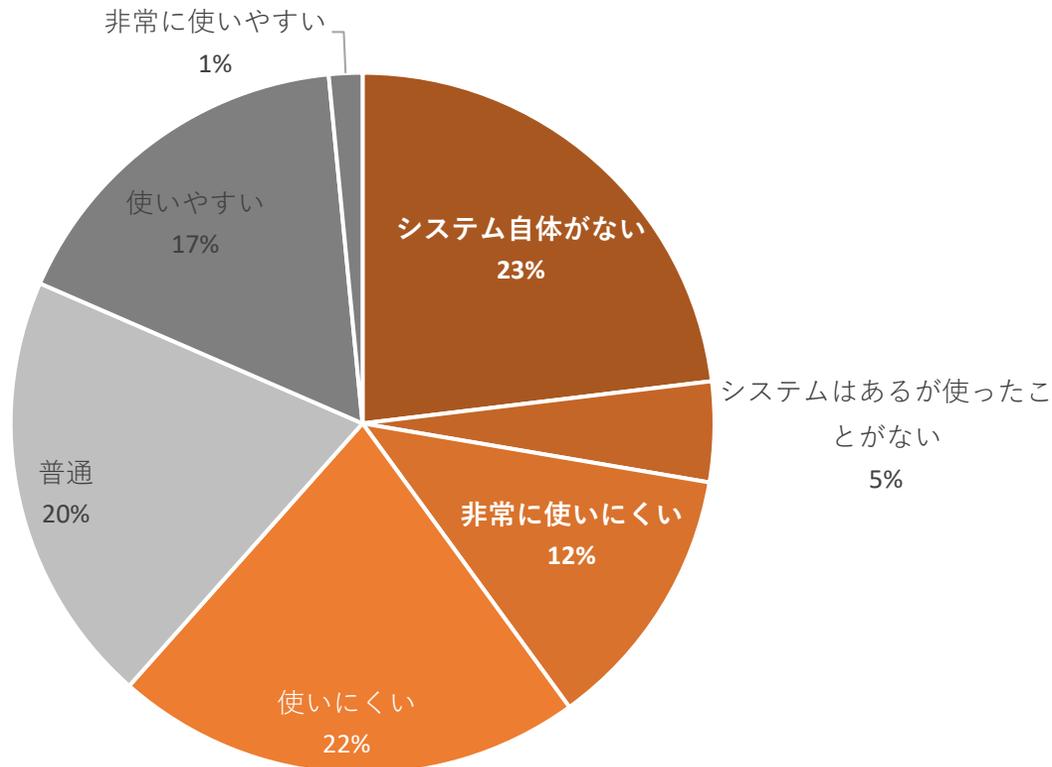
N = 65

無断転用／転載禁止

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchi PoC -アンケート結果抜粋-

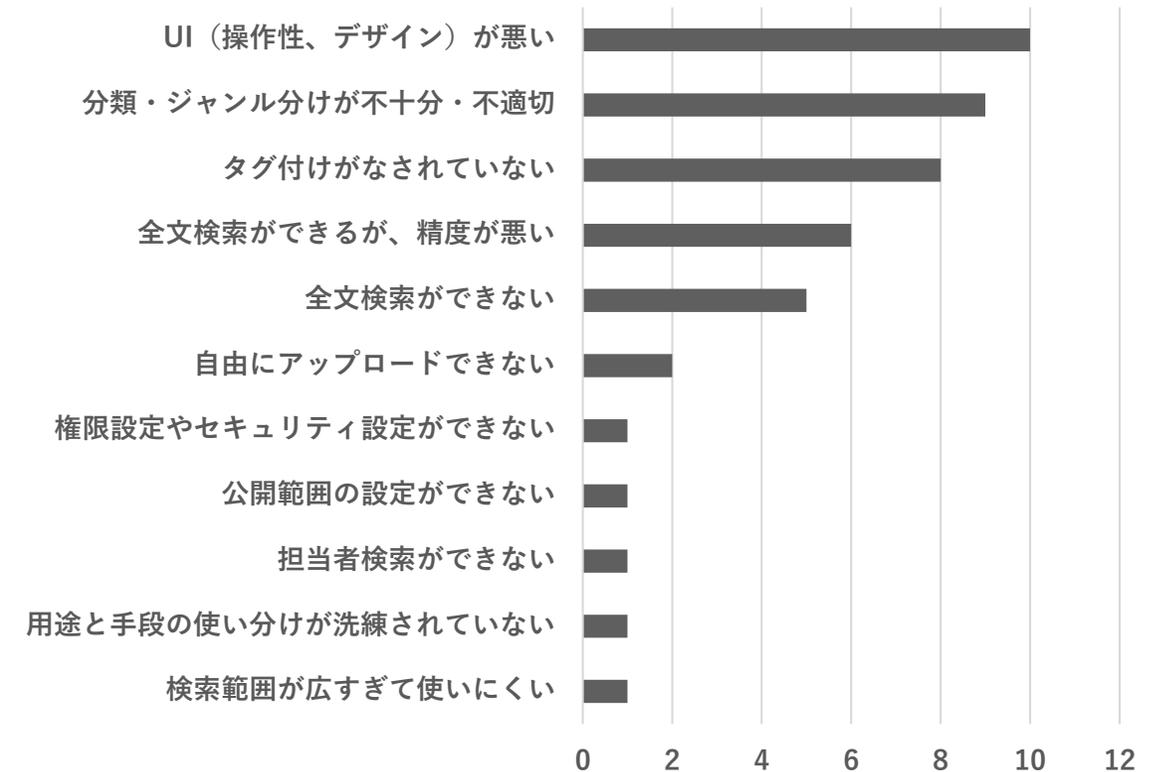
社内で使っているナレッジ共有システムは使いやすいですか？



N = 65

既存のシステムに課題を感じる方は62%

社内で使用しているナレッジ共有システムのどこに不満がありますか？
(複数回答可、自由記述可) ※一部抜粋

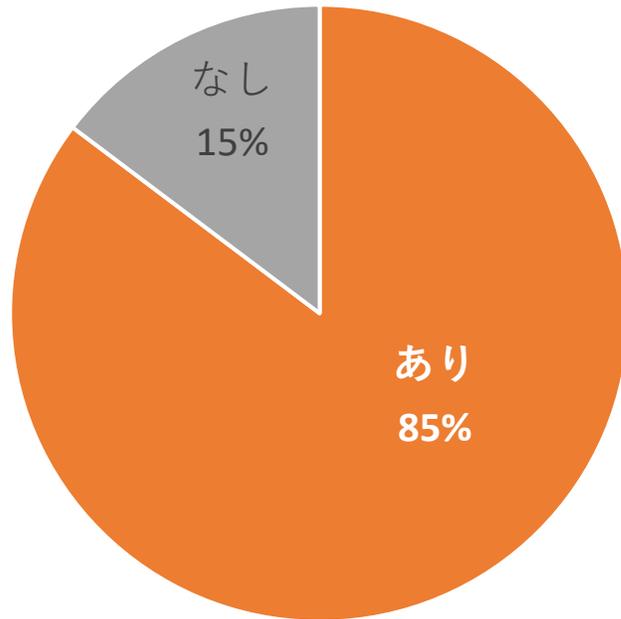


無断転用／転載禁止

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchi PoC –アンケート結果抜粋–

pacts.0を利用することで新しい知見・発見がありましたか？



N = 34

pact.0の機能・デザインに対する評価

質問	回答(5段階)
実証実験やカンファレンス資料など協業取り組みを検索できるのは有効でしたか？	4.4
異なるファイル形式（PDF,パワーポイント,ワード,エクセルなど）を一括して検索・絞り込みができることは有効でしたか？	4.4
他社の基本情報や取り組みを検索できることは有効でしたか？	4.3
検索方法はわかりやすかったですか？	4.3
ログインによるセキュリティレベルの設定（一般来訪者向け、committee企業、自社のみ）の機能は有効でしたか？	4.1
検索してファイルを表示した際に検索ワードが含まれているページが表示され、該当部分がハイライトされているのは有効でしたか？	4.1
ファイルに紐づいたタグ（健康・創造・データ等）で検索ができることは有効でしたか？	4.0
思った通りの検索結果が出てきましたか？	3.9
格納されているデータの種類（各社基本情報、実証実験、ソリューション、その他）は適正でしたか？	3.8
格納されているデータ数はいかがでしたか？	3.6
資料に対するタグ付け（効率・創造・健康・データ・会議・照明・作業他）は適切でしたか？	3.5

無断転用／転載禁止

Azure Cognitive Searchを活用したナレッジ共有の取り組み

point 0 marunouchi PoC -コメント-

- **surface hub** や **visual tiles** に対応しており、見学時の対応が便利になった。
- 全文検索に対応していることから、ニーズに合わせて各社のソリューションがつけられる。接点が薄かった参画企業とも連携が進むと考えられる。
- タグ情報やUIが優れているため、直感的に必要なとじている情報を見つけることができた。

アジェンダ

- 本日のアウトラインの紹介
- 丹青社企業紹介/point 0紹介
- **Azure AIを活用したナレッジ共有の取り組み**
 - ① 社内PoC：課題解決のためのAI活用
 - ② point 0 PoC：可能性の模索
 - ③ **取り組みの裏側にあったものと更なる展開**

PoCを取り組む中で見出した「可能性」

高い評価を得たPoC。これらの背景にあったのは

① オープンイノベーションによるテクノロジー活用

② 自社の強み・特徴を活かす

高い効果・評価の背景①

オープンイノベーションによるテクノロジー活用

Tech企業ではなく、AIにも縁はなかった。

しかし、point 0という共創の場でMicrosoftと交流があった。

共創の中で「まずやってみよう」という感覚で

テクノロジーを活用することができた。

高い効果・評価の背景② 自社の強み・特徴を活かす

このサービスの特徴であるUI・UXの考え方は

「単純に検索する」ではなく、

「欲しい情報を見つけやすくする」

高い効果・評価の背景② 自社の強み・特徴を活かす

The screenshot shows a search results page for 'DX' on the PACTS .0 platform. The page is divided into a left sidebar with filters and a main content area with two search results.

Header: PACTS .0 (PoC for Azure cognitive search for Tanselsha/point 0) | DX | キーワード | 検索アイコン

Left Sidebar (Filters):

- ▼資料種別: その他 (3), ソリューション・カタログ (1), 実証実験 (1)
- ▼ファイル形式: Adobe PDF (5)
- ▼提供元: 日本マイクロソフト 株式会社 (2), 株式会社 丹青社 (2), TOA株式会社 (1), point 0 (1), アサヒビール 株式会社 (1), モンデリーズジャパン 株式会社 (1), ライオン 株式会社 (1)

Main Content Area:

1 - 5 / 5

Grid | List | 選択してください

Result 1:

1-① point0 とは？
point0 に参画している企業の生の声

掲載日：2021/04/27

point 0 とは ~point 0 に参画している企業の生の声~

提供元：ライオン 株式会社、アサヒビール 株式会社、TOA株式会社、東京海上日動火災保険 株式会社、モンデリーズジャパン 株式会社、野村不動産ホールディングス 株式会社、日本マイクロソフト 株式会社、三菱地所 株式会社
資料種別：その他

Result 2:

〔PoC - 9〕
参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験

掲載日：2021/04/27

参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験

提供元：株式会社 丹青社、日本マイクロソフト 株式会社
資料種別：その他
ファイル形式：Adobe Portable Document Format (PDF)
タグ：健康 効果 創造

高い効果・評価の背景② 自社の強み・特徴を活かす

PACTS .0
PoC for Azure cognitive search for Tanselsha/point 0

DX

1 - 5 / 5

Grid List 選択してください

▼資料種別

- その他 3
- ソリューション・カタログ 1
- 実証実験 1

▼ファイル形式

- Adobe PDF 5

▼提供元

- 日本マイクロソフト 2
- 株式会社 丹青社 2
- TOA株式会社 1
- point 0 1
- アサヒビール 株式会社 1
- モンデリーズジャパン 株式会社 1
- ライオン 株式会社 1

情報の視点

切り口

1-5 / 5

[PoC - 9]
参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験

掲載日: 2021/04/27

参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験

提供元: 株式会社 丹青社、日本マイクロソフト 株式会社
資料種別: その他
ファイル形式: Adobe Portable Document Format (PDF)
タグ: 健康 効果 創造

point 0とは?
point 0に参画している企業の生の声

掲載日: 2021/04/27

point 0とは ~point 0に参画している企業の生の声~

提供元: ライオン 株式会社、アサヒビール 株式会社、TOA株式会社、東京海上日動火災保険 株式会社、モンデリーズジャパン 株式会社、野村不動産ホールディングス 株式会社、日本マイクロソフト 株式会社、三菱地所 株式会社
資料種別: その他

高い効果・評価の背景② 自社の強み・特徴を活かす

The screenshot shows the PACTS .0 search interface. At the top, there is a search bar with the text "DX" and a magnifying glass icon. Below the search bar, there are two columns of search results. The left column has a title "[PoC - 9] 参画企業の共創を促進するデザインドリブンのCognitive Searchを活用したナレッジマイニングソリューションの実証実験" and the right column has a title "point0とは? point0に参画している企業の生の声".

Annotations on the screenshot include:

- A red arrow pointing to the search bar with the text "キーワード".
- A red arrow pointing to the search results with the text "検索だけでも分類だけでもたどり着きにくい「埋もれていた情報」が浮かび上がる".
- A red arrow pointing to the left sidebar with the text "情報の視点".
- A red arrow pointing to the left sidebar with the text "切り口".

The left sidebar contains filters for "資料種別", "ファイル形式", and "提供元". The "提供元" filter is expanded, showing a list of companies: 日本マイクロソフト 株式会社 (2), 株式会社 丹青 (2), TOA株式会社 (1), point 0 (1), アサヒビール 株式会社 (1), モンデリーズジャパン 株式会社 (1), and ライオン 株式会社 (1).

高い効果・評価の背景②
自社の強み・特徴を活かす

自社が施設づくりで行う
PLANNING & DESIGNプロセス

情報を選び・分類・編集することで効果的に伝える



自社の特徴を活かしたUX・UI設計

丹青社が考えるナレッジマイニング

テクノロジー・AIの力

×

情報を選び、切り口を作る編集力

更なる展開へ

「ナレッジや資料をどうやって共有するか」

「大量のデータの中から適切な資料をどうしたら見つけれられるのか」

これまで弊社が取り組んできた知見は様々な企業で活かしていただけるのではないかと考えています。

更なる可能性を模索するため、

このナレッジマイニングソリューションの実証実験（PoC）に

ご興味ある企業様を募集いたします。

Azure AIを活用したナレッジマイニング PoC/実証実験 募集要項

- 概要：point 0でのPoCをベースとした環境をご提供
（分類・タグ等は情報にあわせて編集します）
- 費用：有償または無償
- 期間：実施期間1か月程度（準備期間1.5か月程度）
- 必要なもの：検索したい対象のファイル（200~400程度）のみ

興味のある企業様はお気軽に
下記またはお問い合わせボタンからご連絡ください。

<https://web.tanseisha.co.jp/public/seminar/view/2245>

※費用・期間については内容によって検討とさせていただきます。

※実施時期等は協議の上決定とさせていただきます。

※PoC実施の際には機密情報の取り扱いについては機密保持契約の締結、ログイン時は認証をかけるなどの対策を行います。

※PoCは期間限定で実施させていただく予定です。（期間や実施時期等をご相談とさせていただきます。）

※申し込み、お問い合わせいただいてもご返答、対応できかねる場合がございますのであらかじめご了承ください。